

令和3年度 附属学校園研究支援・特色化にかかわる事業実施報告書

事業の名称	ICT を活用した授業づくり方法の開発実践に関する小中連携プロジェクト
事業実施代表者名	白川 卓
実施附属学校名	附属函館中学校
事業内容 (実施内容について、 1,000 字程度で記述)	<p>本事業は、新学習指導要領の具現化を図る「新たな授業」において、ICT の効果的な活用に関する実践研究を幼小中連携して行うとともに、その検証を図り、21 世紀型学力を育む小中一貫のカリキュラムの充実を図ることを目的とする。</p> <p>新学習指導要領においては、情報化やグローバル化など急激な社会的変化の中でも、未来の創り手となるために必要な資質・能力を確実に備えることを柱としており、本校は、附属学校としての役割・使命を果たすべくこれらの教育の動向を踏まえた先導的な研究を推進している。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、新たな生活が求められており、学校においても新たな学校生活、新たな授業スタイルへの対応が急務であり、このことに関わり全国の学校において大規模な ICT 化を構想した GIGA スクール構想の実現が急速に進められている。地域の学校においては、プログラミング教育を始め、「教育の情報化」において、モデルカリキュラムの作成、環境施設整備、教員研修による指導力の向上などの教育課題が山積しており、函館地区附属学校園で継続的に取り組んできた研究成果は、その実践を公表することで地域の教育課題の解決を図っていくことができる。</p> <p>今年度は、GIGA スクール構想における「正解モデル」を求める状況が強くなってきている。今求められている「新しい授業」について、先進的教育実践を実現できる教育実践研究棟の整備と活用により、合同研修会や授業力向上セミナー、教科研究会等を様々な機会を通して、21 世紀型学力を育むための授業モデルについて提案・検証を行った。</p>
成果と課題 (活動の成果と課題について、500 字程度で記述)	GIGA スクール構想の実現にかかわり、新たな学校、新たな授業づくりについて、遠隔システムを活用した授業や教員研修等を公立学校等と協働的に取り組み、地域の喫緊の教育課題に向けた教育実践に寄与できる研究を推進することができた。先導的教育実践を実現する「教育実践研究棟」の整備を一層進め、情報化における公立学校園の山積する課題についても、本校のリソースを活用した支援を継続して進めていく必要がある。
今後の発展性	GIGA スクール構想の実現において、今後より北海道教育委員会函

<p>(残された課題の解決方策及び取組の方向性について、500 字程度で記述)</p>	<p>館教育委員会を中心とする近隣教育委員会との連携を図り、その導入・整備や活用の諸問題等について情報共有を図るとともに協働的に課題解決を図っていくことが必要であり、より ICT 活用において函館地区附属学校園の先導的な実践が注目されるものと考えられる。</p>
<p>事業の公表状況 (事業をHPで公開した場合、又は新聞等に掲載された場合、当該媒体名、掲載日等を記入)</p>	<p>・ youtube 動画「1人1台が日常の中学生にきいてみました」 2021.10.17 https://www.youtube.com/watch?v=9x8Uj oJ1uTo ・ 智場#124「2030年代のデジタル学習論」1人1台 BYAD の運用と展開の軌跡 2022.01.31</p>

(注) 当該事業に係る写真等の参考となる資料がある場合は、この事業報告書に添付すること。

支出実績額内訳

(附属学校名)

区 分	予算額	支出実績額	内訳 (簡潔に記載すること)
旅 費	千円	千円	
謝 金			
備 品 費			
消耗品費			
そ の 他			